令和7年度　　授業改善推進プラン　2 年　　美術　　科

1 日常の学習状況･課題について

（1）学習状況について
・伝統的な美術作品を通じ西洋絵画作品と表現や技法の違いを体感することができている。
・美術の学習に対してじっくり取り組める生徒と、深く考えずに制作に入ってしまう生徒の差が大きい。
（2）学習の課題について
①学習面・立体的な対象を見て、バランスや動きを観察して描くことができる生徒が多い。
・鑑賞の学習に関して、じっくりと対象と向き合って見る力や深く考える力や自分の考えを人前で話すことができる生徒が多い。
②指導面・生徒の興味のある教材で導入し、表現意欲をもたせる工夫を行う。
・制作者の意見を聞きながら鑑賞する楽しさを伝える工夫する。
・苦手意識やじっくりと取り組む習慣のない生徒が、自分の作品を投げ出さずに取り組むための授業課題や内容の工夫改善をしていく。

2 改善の計画

（1）発想力を引き出すための手がかりとして、資料等の工夫をする。
（2）黒板を使い、授業のねらいや具体的な目標をその時間ごとに簡潔に示す。
（3）参考作品や参考図書をできるだけ多く用意し、美術室での展示も工夫することで、生徒の意欲とイマジネーションを高める。
（4）作業進度の速い生徒に対する課題を用意する。作業進度の遅い生徒については可能な限り個別指導を行う。グループ形式の学びあいを有効に活用する。
（5）道具の準備・片付け、作品配布の方法を工夫し、それに費やす時間の短縮を図る。
（6）鑑賞と表現が連結した指導計画を工夫する。
（7）課題ごとに制作手順を明確に示し、個々の生徒が計画的に見通しをもった取組ができるようにする。
（8）効果的な場面でグループ形式の学び合い学習を取り入れていく。
（9）基礎知識を分かりやすく指導するためにビジュアルで解説するなどの工夫をする。毎回宿題を課し、授業内容の定着を図る。

3 非認知能力を高めるための手だて

（1）映像などを用いてひきつけ、活動意欲を伸ばす。
（2）単元の前後で計画の時間･振り返りの時間を設け、自分の学習を見通せるようにする。

4 プランの評価方法

（1）授業アンケートを行い、変容を見る。
（2）年度末に、観点別学習状況の評価を前年度と比較する。